

## 第2期 倫理部会 第8回会合 議事メモ

日時：2020年8月29日

手法：ZOOM

### ◆Aさんたたき台の説明

- ・人間活動の源はこころ、その部分を探求したい。
- ・文明崩壊を招いた人間の行動は心にその源がある。AがBを凌駕。
  - A 文明を崩壊に導く心、価値観
    - 虚栄心、名誉心、執着心、強欲、防衛心、敵愾心、依存心、恐怖心、あきらめ等
    - 今だけ（刹那主義）、金だけ（拝金主義）、自分だけ（利己主義）
  - B 文明を持続可能にする心、価値観
    - 感謝、思いやり、共感、慈しみ、畏敬、謙譲、忍耐など
    - 共生、互助・利他、ほどほど、中庸、知足、循環など
- ・環境文明は文明を持続可能にする倫理をこれまで示してきた。いわば目標（願い）。
- ・倫理の観点で、このグローバル文明が持続不可能に向かっている原因を見てみたい。
- ・「生き残りへの選択 ブックレット8」をベースにする
  - 第1 ブックレットの大切にしている価値の確認
  - 第2 課題の裏にあるこころ、倫理
  - 第3 これを支える倫理、こころ、日本の知恵は何か
- ・今後対策だけでなく行動の原点となる価値はどうなるか？
- ・その上で方法論、よりよい事例、モデルを示せばいい

### ◆意見交換

- ・価値観を変えることは大変。これまでもいろいろやってきたが…。
- ・日本が劇的に変わったのは明治維新と戦争。大きなことがないと変われなかったが、コロナで変わった。温暖化問題も伝え方を変えれば変わるのではないか。
- ・コロナで一時的には変わったが、本当に変わったと言えるか？3. 11後も変わったように見えたが、結局もとに戻っている。
- ・欲を我慢することはできないので、代替案を示す方法がいいのではないか。
- ・個人の為より他人の為に動く人も多くいるので、将来の為になることを示していけばいいのではないか。
- ・利他、互助が大切。しかし今は変化を求めない現状維持派が多い。食べたくても食べられない時代が来るというのに。
- ・都会の問題の様に思う。地方では、自分の地域のことは自分たちで何とかしている。  
Small is beautiful を読み返したが、あれに全部書かれている。
- ・それで地域は変わるが社会は変わらなくていいのか？環境文明としては、社会を変えることが一つの目的。
- ・人類が生き残ってこられたのは、集団で対処したからという説がある。利他などのインセンティブを与えることが大切。
- ・当会としての対象は日本だが、勿論世界も見て。

- ・地域の力、自立して生きていく力、それらが連携することが大切では。
  - ・この会として何を目標しているのか？世の中を変えていくために何をすればいいのか？何故できなかったのかを考えていくことも大切では。ターゲットを絞る。
  - ・ターゲットは5%の人たち。600万人か。
  - ・現在の暮らしのすべてが経済の為になされており、SDGsも結局そこに行きつく。それを変えないとダメなのではないか。
  - ・原理原則ではなく、娑婆の中で変えていく方向を示せばいい。
  - ・人間はA、Bの両方を持っている。しかし、現実には我々と奴らという面で見ている。
  - ・温暖化を解決するにはAとBのボーダーを下げる必要がある。
  - ・過去には環境政策のお陰で改善された面もあるが、これからも日本モデルを示していく必要がある。
- 
- ・時代の気分を明確にする、とはどういうことか？その説明は必要ではないか

◆大まかな合意

第1部 認識（何が問題か、その原因は何か）

第2部 倫理（社会の有り様 あるべき社会に必要な倫理は何か）

第3部 対策、アクション

## たたき (A 作成)

### 【方針】

- 人間が環境に及ぼす影響について長きにわたって警鐘がならされているにもかかわらず状況が変わらないのは、人間の心（他の動物とは異なる強い欲）に源があると言える。（結果として「共有地の悲劇」）

Anthropocene（人新世：人間が環境に甚大な影響を与えている時代）は持続不可能。  
過去の文明崩壊の2大要因は、「資源の枯渇」「貧富の差の拡大」

文明崩壊を招いた人間の行動は心にその源がある。AがBを凌駕。

#### A 文明を崩壊に導く心、価値観

虚栄心、名誉心、執着心、強欲、防衛心、敵愾心、依存心、恐怖心、あきらめ

等

今だけ（刹那主義）、金だけ（拝金主義）、自分だけ（利己主義）

#### B 文明を持続可能にする心、価値観

感謝、思いやり、共感、慈しみ、畏敬、謙譲、忍耐など

共生、互助・利他、ほどほど、中庸、知足、循環など

- 環境文明は文明を持続可能にする倫理をこれまで示してきた。いわば目標（願い）。
- 倫理の観点で、このグローバル文明が持続不可能に向かっている原因を見てみたい。

たとえば、

ブックレット「生き残りへの選択～持続可能な環境文明社会の構築に向けて～」

を土台にして、ここに示されている現状（課題）と望ましい方向性が、倫理の観点からどんなギャップがあるのかを議論していく、とか。

### 第1章 「環境文明社会」って、なんだろう？

政治・経済・技術・教育を柱とする全体像の確認

環境文明社会の土台の確認

大切にされる価値（共生、互助・利他、ほどほど、中庸、知足など）

=環境倫理

### 第2章 なぜ「環境文明社会」なのか？

政治・経済・技術・教育における課題の背後にある倫理の欠如、心、価値観

### 第3章 「環境文明社会」が目指すもの

政治・経済・技術・教育の望ましい姿と方向性を支える倫理、心、価値観、知恵

- 「資源の枯渇」「貧富の差の拡大」「温暖化影響」がさらに進む将来、このままでいけば人間の心、価値観はどう変化していくか。

- 新型コロナウイルスのパンデミックは、人間の心、価値観にどんなインパクトを与えるか。

その上で

● 転換の方法論

● よき事例を集める。